

神室のいずみ



山形県神室少年自然の家

令和2年

〒999-5301

4・5月号

最上郡真室川町大字川の内字水上山 3414 番地5

TEL0233-62-2611 FAX0233-62-2613

令和2年の年明けから始まった新型コロナウイルスの感染は、瞬く間に全世界に広がりました。日本においても、発生から増加の一途をたどり、年度末に学校が閉鎖になるという異常な事態となりました。

その継続でスタートした今年度、4月中に事態は好転せず、団体の利用も企画事業も実施できませんでした。

子どもたちは学校にも行けず、自宅で過ごさなければならない生活が長期に及んでいます。心身への影響も心配されます。また、野山の植物が芽を吹き、生きるエネルギーを体一杯に感じられるこの季節、神室を利用していただけないこともとても残念です。

そのような中私たちは、いつ利用が再開しても安全に、安心して利用してもらえるように、環境整備や活動の準備を進めてきたところです。

5月後半には次第に収束傾向になり、様々な規制が解除の方向にあります。自然の家の利用も安全対策を確実にした上で、一部再開となりました。

新型コロナウイルスとの戦いは、まだ先が見通せない状況ですが、受け入れる私たちが感染防止対策を徹底し、合わせて、利用者の皆さんにも必要な配慮をいただきながら、「新様式」「新体制」での利用を進めていくこととなります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

運営の重点

教育目標

自然と生活と科学に関する豊かな体験活動を通じて感性を高め、いのち(自然)をつなぎ学び(科学)通して、心身ともに健全でたくましく生きる力を育てる。

利用拡大に向けた取り組み

- 体験活動の意義を伝える広報活動の充実
- 新たな利用者の掘り起こし

ねらいを明確にした 活動の運営と支援

- 利用者(団体)のねらいやニーズに即した支援
- 対象に応じ、ねらいを明確にした主催、企画事業



安全で魅力的な環境づくり

- 安全で魅力的な環境整備
- 施設及び活動を支える人づくり

職場スローガン 利用される皆さんはもちろん、職員も・・・みんなで作る

明るく 楽しく 笑顔あふれる神室少年自然の家～一人一人の生きる力を育むために～

6月～7月の事業

★わんぱく探検隊 ～夏～ 6月13日(土) ※小学校中学年対象(案内済)

★めんごキャンプ 7月4日(土) 親子一緒にの活動に変更

6月上旬 案内発送

★親子でかっぱだれ 7月26日(土)、7月27日(日) 検討中

各事業の詳細は、掲載されたHPや配布されるのチラシをご覧ください。

よろしくお願ひします

令和2年度、県職員1名が異動となり、遠田由也研修主事が新しく加わりました。指定管理の職員に変更はありません。神室少年自然の家は、職員総勢14名で、それぞれの専門性を発揮して、利用者の皆様に満足していただけるような活動の支援に努めてまいります。今年度もよろしくお願ひいたします。



宿直員	施設係	宿直員	施設主任	研修主査
鈴木 廣美	庄司 重敏	天口義実	小野喜栄	福澤 徹
給食係(栄養士)	給食主任	管理係	指導係	
沼 礼子	小野 静	佐藤 操	高橋知恵	
施設管理者	次長	所長	指導部長	研修主事
伊東 守	福澤満徳	金田美代子	小松克彦	遠田由也